

岡山芸術交流 OKAYAMA ART SUMMIT 2016

OKAYAMA ART SUMMIT 2016 TOPICS

1. 下道基行（したみちもとゆき）氏、Robert Barry（ロバート・バリー）氏が出展作家に追加
2. 出展作家、続々岡山訪問
3. プレイベント「前川國男展 - 岡山からの提言」のご案内

岡山芸術交流実行委員会は、岡山市内8カ所を中心に国内外で活躍する現代アーティストが集結し作品を展示する国際芸術祭「岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016」（2016年10月9日（日）-11月27日（日））の開催に向け、着々と準備を進めております。本日は進捗情報をお送りいたします。

TOPICS 01

下道基行氏、Robert Barry 氏が出展作家に加わりました

下道基行氏は、国内に散らばっている戦争遺跡をまとめた『戦争のかたち』や、日本の植民地、侵略の遺構をさがす「torii」など、フィールドワークをベースとし、写真やインスタレーション、書籍などで発表を続けています。また、Robert Barry（ロバート・バリー）氏は60年代のコンセプチュアル・アートの代表格として様々な美術館でもコレクションされている作家。近年では2013年ブラダ財団（ヴェニス）で開催された、ドイツのクンストハレ・ベルンで1969年に開催された伝説の展覧会の再現「When attitudes become form」展（現代美術史における重要な作品カテゴリーでもあるプロセス・アート、コンセプチュアル・アート、アルテ・ポーヴェラ、ランド・アートなどの代表的な63組の作家による約100作品が展示）での展示も記憶にあたらしい。岡山出身の下道基行氏、そして時代を築き今も積極的に活動している Robert Barry 氏の作品にご注目ください。

下道基行（したみちもとゆき）

1978年、岡山生まれ。現在は名古屋を拠点に制作活動。主な個展に2015年「海を眺める方法」（奈義町現代美術館、岡山）、2010年「日曜画家/Sunday Painter」（水戸芸術館クリテリウム79、茨城）、2008年「戦争のかたち—Mémoires de guerre」（エスパスジャポン、パリ）、グループ展に2015年「MAM コレクション 001：ふたつのアジア地図—小沢剛+下道基行」（森美術館、東京）、「他人の時間」（東京都現代美術館・国立国際美術館、大阪他）、2014年「Turning points」（ハンガリー国立美術館、ハンガリー）、2012年「光州ビエンナーレ 2012」（光州、韓国）など。ワークショップやレクチャー、寄稿など、活動は多岐にわたる。

Robert Barry ロバート・バリー

1936年、ニューヨーク生まれ。現在ニュージャージーを拠点に制作活動。近年の主要な展覧会に2014年「Robert Barry : Diptych, Window-Wallpiece」(モントクレア美術館、アメリカ)、2014年「There Will Never Be Silence : Scoring John Cage's 4'33」(MoMA、ニューヨーク)、2013年「When attitudes become form」(ブラダ財団、ヴェニス)、2012年「Ends of the Earth : Land art to 1974」(ロサンゼルス現代美術館、アメリカ)、日本国内では1998年「La Collection Yvon Lambert」(横浜美術館)など。

TOPICS 02

出展作家、続々岡山訪問 会場を視察



写真左：サイモン・フジワラ 写真中央：リクリット・ティラヴァーニャ 写真右：レイチェル・ローズ

出展アーティストが続々岡山訪問し、会場などリサーチ。リクリット・ティラヴァーニャ氏は、食材を使った作品の制作を考えており、60年以上、市民に親しまれている「岡ビル市場」をリサーチ。また、サイモン・フジワラ氏は岡山大学にて、学生向けにアーティスト・トークを開催。レイチェル・ローズ氏は作品を展示する候補会場の林原美術館を視察、そして真島竜男氏は岡山訪問時に自身の作品「今日の踊り」の岡山バージョンの撮影を実施。実行員会メンバーや、学生、市民と交流を行いました。

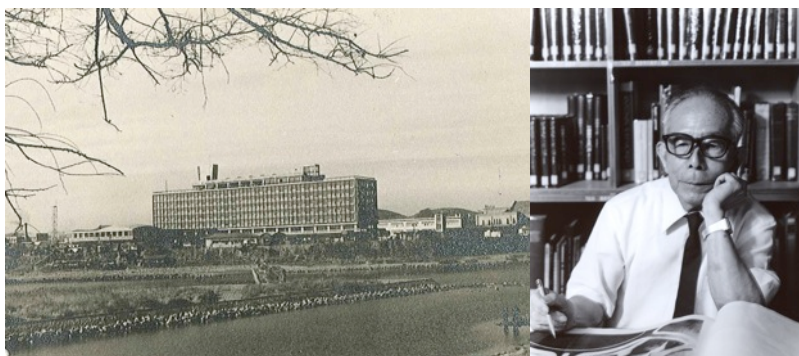
真島竜男氏の県庁前のパフォーマンスは以下よりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=R9A4hVM7Kxk>

<https://www.youtube.com/watch?v=YAmboxobA0w>

TOPICS 03

岡山芸術交流 プレイベント：近代建築の巨匠前川國男 岡山に建つ3つの建築を中心に紹介する「前川國男展 - 岡山からの提言」が開催されます。



写真左：竣工当時（1957年）岡山県庁舎 提供：前川建築設計事務所
写真右：前川國男氏 撮影・廣田治雄

「日本はまだ普請中だ」

文豪、森鷗外が短編「普請中」に描いたのは西欧文明の衝撃に揺れる近代国家日本の矛盾と葛藤でした。ル・コルビュジエ、アントニン・レーモンドに学び、第二次世界大戦後の日本建築を牽引した前川國男もまた、鷗外同様に、明治以降の日本の知識人たちの苦悩と葛藤を体験しました。「日本における建築」の理想的なあり方を模索し続けた前川。岡山県庁舎、岡山県天神山文化プラザ、林原美術館は、彼の思考とその展開を具現化した貴重な存在です。近接して建てられたこの三つの建築は、それぞれが「工業化・軽量化」から「存在感のあるコンクリート」の追求、そして後半の打込みタイルへつながる「コンクリートの外壁を覆うものとしての焼きもの」へ、と至る前川のテクニカルアプローチの変遷を伝えているのです。

本展では、貴重なオリジナル模型や図面のほか、前川愛用の遺品や同時代のアーティストとの交流を物語るアート作品も公開し、前川の建築的思考を追体験する・体感できる展示空間構成を試みます。建築を通して人と自然、テクノロジーと文明の関係を考え、人間が創り出すよりよい未来の可能性を信じた前川の言葉に、今だからこそ耳を傾けてみませんか。

開催概要

展覧会名：「前川國男展 - 岡山からの提言」

会期：4月26日（火）-5月22日（日）

会場：岡山県立美術館 屋内広場（〒700-0814 岡山市北区天神町 8-48）

料金：無料

開館時間：9時～17時（入館は閉館30分前まで）

休館日：月曜日（休日の場合はその翌日）

主催：岡山芸術交流実行委員会

企画：岡山芸術交流 総合ディレクター 那須太郎

会場構成：CIFACA 作元大輔

協力：前川國男建築設計事務所

本展覧会についてのお問い合わせ：岡山芸術交流 実行委員会 事務局 [岡山市 政策局政策企画課内]

〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1 TEL 086-803-1042 FAX 086-803-1846

EMAIL info@okayamaartsummit.jp

岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016 概要

岡山芸術交流とは、岡山市が世界に誇る「アートと文化の街」へと進化をめざし、世界的現代アーティストの作品を展示した「Imagineering OKAYAMA ART PROJECT(イマジニアリング オカヤマアートプロジェクト)」を引き継ぐものとして、規模・内容ともに進化した国際展です。岡山は、城下町として多くの異文化の交わりと共に発展してきた歴史をもちます。また、近年はアートエリアとして世界から注目を集める「瀬戸内」の玄関でもあります。今回の芸術祭名称「交流」には、アートを介した人や物の「交流」から新しい価値を生み出し、地域の潜在的資源の活性化につなげたいという思いを、そして、ラテン語で「最高」の意味に由来する「Summit」には「最高」の作品で世界の「頂点」を目指したい、という思いを込めています。

[名称] 岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016 (英)Okayama Art Summit 2016

[会期] 2016年10月9日(日)~11月27日(日)

[会場] 岡山県天神山文化プラザ、旧後楽館天神校舎跡地、岡山市立オリエント美術館、旧福岡醤油建物、林原美術館、岡山城、シネマ・クレール 丸の内、岡山県庁前広場

[公式サイト] <http://www.okayamaartsummit.jp>

[総合プロデューサー] 公益財団法人石川文化振興財団 理事長/株式会社ストライプインターナショナル
代表取締役社長 石川康晴

[総合ディレクター] TARO NASU 代表 那須太郎

[アーティスティックディレクター] リアム・ギリック (アーティスト)

【本展覧会についてのお問い合わせ】岡山芸術交流 実行委員会 事務局 [岡山市 政策局政策企画課内]
〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1 TEL 086-803-1042 FAX 086-803-1846
EMAIL info@okayamaartsummit.jp

【取材／広報用画像についてのお問い合わせ】

岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016 PR 事務局

[TAIRA MASAKO PRESS OFFICE] EMAIL press@okayamaartsummit.jp